

2025年度 事業計画



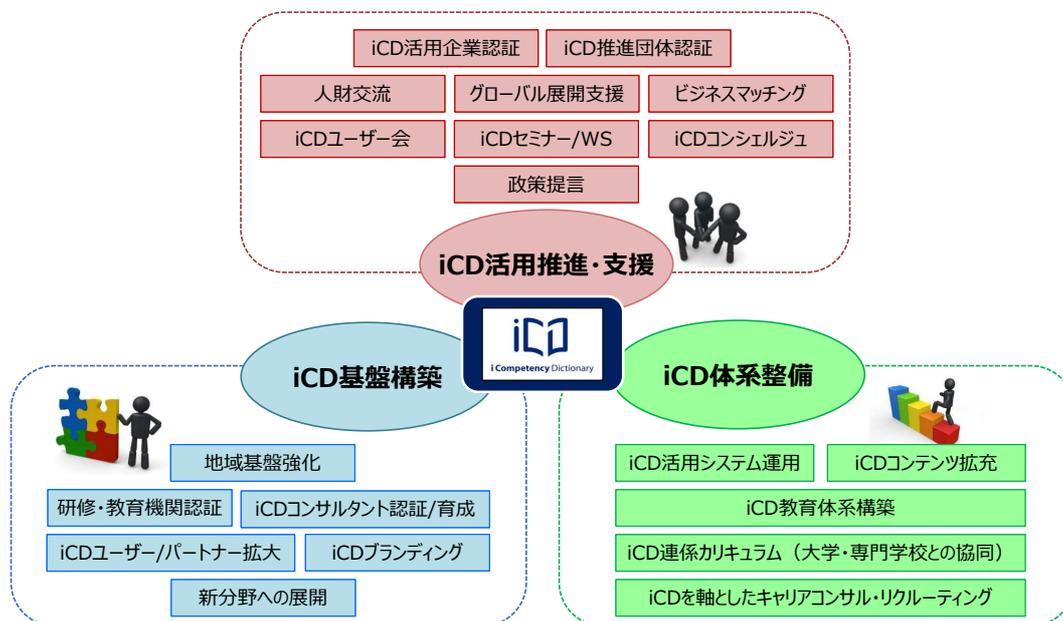
Ver 1.0

2025.4.28
一般社団法人iCD協会

事業ビジョン



iCDの力を活かして、多様な組織と人を元気にする



業種・業態に関わらず、継続的な組織の成長を意図した
 人的資本経営、デジタルトランスフォーメーション（DX）等の実現に向けて、
 iCDの構造的な優位性とコンセプトを最大限に活用して、
 「組織における人材の形成と成長」の仕組み作りを軸に、
 多様な企業・団体における経営や組織改革等のご支援に取り組み、
 組織と人に元気になって頂く事を通して、日本経済の発展に貢献する。

- ・ 今後のありたい姿に向けた業務遂行力強化の取り組み
- ・モチベーションの醸成を図る人材成長支援の仕組み作り
- ・ 組織の継続的な成長に向けた事業継承の取り組み
- ・ iCDのタイムリーで有意なバージョンアップと普及推進 …等

活動方針

1.iCDの認知度向上を図り、各企業における活用機会の創出に取り組む

ユーザー会や説明会等を通して iCD認知度の向上を図るとともに、iCD活用ワークショップ等による実活用の機会作りを通して、幅広い iCDのファン作りを行う。

2.「iCD活用企業認証制度」の着実な運営と広報を通して、活用企業数の拡大を図る

iCDを活用している企業の事例収集と他企業への紹介を目的として「iCD活用企業認証制度」を運営し、iCD活用企業の一層の拡大を図る。

3.iCD活用企業の発展に貢献する

iCDを活用している企業間における情報交換の場の提供を通して、有効活用に関するコンサルテーション等のサポートを行う。また、企業間の人材交流やビジネスマッチング等を通して、活用企業の事業の発展に貢献する。

4.環境の変化に対応して、iCDコンテンツを適宜更新する

企業活動の業務（仕事）を整理したタスクディクショナリと、タスクを遂行するために必要な能力を整理したスキルディクショナリにつき、内外の環境の変化やユーザーニーズに応じて逐次ブラッシュアップし、グローバル標準として有意な内容を維持する。

5. iCD活用システムの利用を推進する

協会が認定した「iCD活用システム」につき、広くiCD活用企業への紹介に努め、各企業がスムーズに運営できるようサポートする。

6.iCDを活用した学校関係等における教育体系の確立に取り組む

学校関係および教育事業者等と協力して、iCDを活用した教育体系、人材育成施策、実行体制の整備等に取り組む。また、それらの機関を iCDエデュケーター として認証し、継続的なカリキュラムや研修手法の向上を図る。

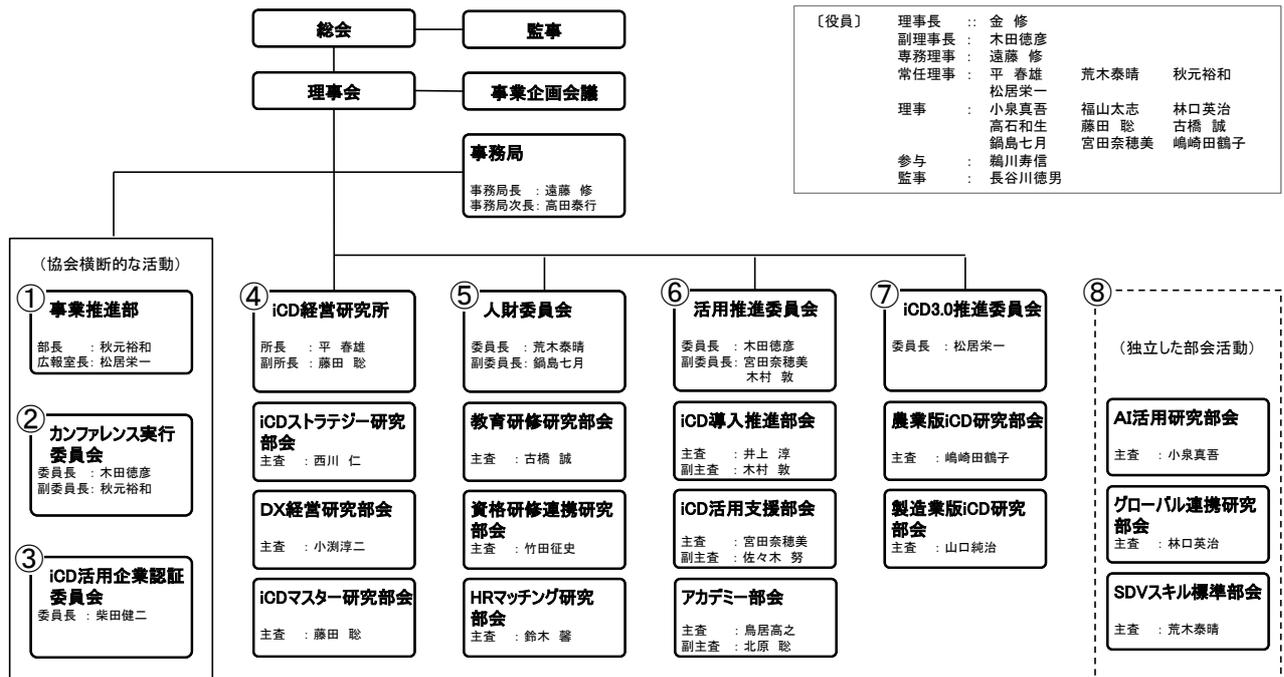
7.iCD活用企業の海外展開をサポートする

海外のスキル標準と密に連携して、iCDのプレゼンスを高める活動を行うほか、連携内容をiCD活用企業に展開して、各企業のグローバル化のサポートを行う。

2025年度 事業計画

Copyright 2025 © All rights reserved, iCD Association

組織体制 (2025年6月～)



〈注〉①～⑧は、次ページ以降における事業計画の掲載順番を示す。

Copyright 2025 © All rights reserved, iCD Association

(1) iCD3.0 と新スキルディクショナリ の横断的活用と新規領域への展開

- ◆事業内容 iCD協会の主力コンテンツである「iCD3.0」と「新スキルディクショナリ」の普及にむけて、これらを高度に連携させた運用の実現を目指す。これにより、農業版だけでなく、製造業、流通、小売、サービス業など、他領域への応用検討を行うことで、各業界におけるDX推進や「ありたい姿」の実現を支援する。
- ◆想定利用者
 - ・ 各業界のDX推進を支援する経営者やマネージャー層
 - ・ 自社の業務や人材モデルを標準化し、組織成長を加速させたい企業
 - ・ 異業種連携を通じて、新たなビジネスモデルを模索する企業や団体

(2) 人的資本経営 の高度化とiCDによる企業価値向上

- ◆事業内容 iCDを活用した人的資本経営の指標化を進め、企業が従業員の成長を定量的に可視化できる仕組みの実現を目指す。さらに、企業価値の向上を目的とした内部改革のみならず、人材流動性と企業間連携を推進し、持続可能な人的資本経営の実現をサポートする。
- ◆想定利用者
 - ・ 人的資本経営を実践し、企業の価値向上を目指す経営者や人事/人材育成部門
 - ・ 投資家やステークホルダーとの信頼性強化に向け、人的資本の情報開示を推進したい企業
 - ・ 従業員の成長支援とエンゲージメント向上に関心のある企業や組織

(3) 生成AI による「タスク遂行力診断」等のシステム化とその活用

- ◆事業内容 これまで研究してきた生成AIの活用方法を発展させ、「タスク遂行力診断」「ジョブのタスク分析」等のシステム化を目指す。またそのシステムを活用し、組織や個人における戦略立案や業務遂行、キャリアアップ等の高度化を図る。これらを通じて、生成AIや自然言語処理等の先端技術を融合し、現場や経営判断における迅速な意思決定を支援する。
- ◆想定利用者
 - ・ 生成AIを活用し、人材戦略やジョブ管理、キャリアアップ等の高度化を目指す組織や個人
 - ・ iCDデータを活用し、組織内の適材適所や業務効率化を進めたい人事・経営層
 - ・ AI技術と連携した人的資本マネジメントの革新を目指す研究者やコンサルタント

(1) 最新情報、協会活動成果、最新事例の発信【カンファレンス実行委員会】

- ◆事業内容 社会における iCD の認知度を向上し、一層の普及促進をする。
 - * iCDカンファレンス(会員以外を含む、2回)の開催
 - * カンファレンスアフターミーティングの開催
 ◇協会横断的な活動にむけて
 - ・ 定例委員会は、活用推進委員会と合同開催
 - ・ 事業推進部、事務局が支援
 - ・ 各委員会から兼任で推進メンバーを募集
- ◆利用者想定 iCD協会の会員、協会活動に興味がある非会員、iCDに興味がある企業・団体、有識者 の皆様

〈2025年度のカンファレンス開催予定日〉

- | | | |
|-----------------|-------------|-----------------|
| ● iCDカンファレンス 夏 | 7月17日(木)午後 | オンライン開催 |
| iCDアフターミーティング 夏 | 7月30日(水)午後 | 会場主体(オンライン配信あり) |
| ● iCDカンファレンス 冬 | 11月20日(木)午後 | オンライン開催 |
| iCDアフターミーティング 冬 | 12月10日(水)午後 | 会場主体(オンライン配信あり) |

(1) iCD活用企業認証制度の運用【iCD活用企業認証委員会】

- ◆事業内容 各企業のiCDの活用状況や成果の創出状況を確認して、そのレベル(6段階)に応じた認証を実施する。その結果と、認定企業各社の取り組みの詳細を公表することで、iCDの有効性を確認し、さらに普及促進を図るための活動を強化する。
- ◆利用者想定 iCD活用について、他社の状況を確認するとともに、自社の状況を公開し関係者と共有することで、さらなるiCD活用成果向上を目指す皆様

(1) デクショナリの戦略的構築と活用の仕組み作り:「Make/RAG・Use」【iCDストラテジー研究部会】

- ◆研究内容 iCDを活用した新たなサービス・ソリューションの企画・開発
デクショナリの充実・体系化:RAG化によるデータ構造・検索性の向上:iCDポータル¹の仕組み作り:「Make」
業務遂行力(タスク)診断の仕組の構築:AIエージェント等の活用(25年度のメイン活動とする)
書籍の企画:「近未来企業の人材育成と生成AIの活用」:iCDの先進的活用法の企画(発刊は26年度)
- ◆想定利用者 iCDの戦略的活用を目指す皆様、iCDとともに生成AIの活用に関心ある皆様

(2) DX経営・人的資本経営にむけた知識体系・技術基盤とサービスのあり方の研究【DX経営研究部会】

- ◆研究内容 DX経営・人的資本経営・タレントマネジメント分野における業務の革新の推進へのiCDの活用:「Use」
- ◆想定利用者 DXによる経営変革を目指す組織の経営層(企画/人事等を含む)やコンサルタントの皆様

(3) DX・AI時代に呼応したiCDの体系・構造と活用しやすい構造への展開の研究【iCDマスター研究部会】

- ◆研究内容 IT分野・業種分野の全体観を持たせたiCD体系・構造の構築
iCDの活用状況から新しい活用の視点を見出しMakeへつなぐ:「UseからMakeへ」
- ◆想定利用者 iCDを活用されるすべての皆様(特に、iCDの最新動向に関心ある皆様)

(1) 研修事業者の情報共有の場の円滑運営と事業水準の向上【教育研修研究部会】

- ◆事業内容 IT/DX関連の特定研修事業者が参集し、ビジネス課題やその対処法等を共有、ならびに事業水準の向上を図る。教育研修研究部会に所属する研修事業者の責任幹部および担当者により、各社のオープンコースやサービス検索・申込の共通化や、iCD・他フレームワークを基軸とした、研修情報発信の整備等による研修利用者の利便性向上を図る。
- ◆参加メンバー 研修事業者の動向把握や、各社の研修の比較/選択を検討されている皆様。

(2) マップと資格制度の紐づけによる可視化【資格研修連携研究部会】

- ◆事業内容 iCDと資格の紐づけマップを公開する各資格認定組織(資格試験実施組織)とリレーションを高め、iCDと資格の紐づけマップのプレゼンスを向上させる。
- ◆参加メンバー 資格や研修の事業を生業(なりわい)としている皆様

(3) 調達コミュニティを通じたマッチング課題抽出とAI/スキル標準(iCD)による解決【HRマッチング研究部会】

- ◆事業内容 コミュニティ(調達ネットワーク)を継続、いかに人財確保し、いかにアンマッチを減らしていけるか、具体策を共有・実践する。
 ◇ネットワークとサブWG 調達ネットワークでの様々な議論にて、アンマッチを解決するため「調達-営業間のコミュニケーション」の改善が重要であるとの結論を得た。調達ネットワークメンバーによる『営業研修』を企画、営業タスクディクショナリを用いた評価を試行する。
 ◇活動スケジュール 定例会議(隔週)、調達ネットワーク(1回/四半期)、営業研修(5回)試行開催。
- ◆参加メンバー 人的資源のアピールと、その調達・雇用を事業としている皆様

(1) 新たにiCDを導入・活用しようとする企業・団体の支援【iCD導入推進部会】

- ◆事業内容 iCDの周知・紹介・導入活動を目的として、以下のようなイベント等について企画し実施する。
 ① iCD未導入企業向けセミナーの開催 ② iCD導入予定企業向けワークショップの実施
 ③ iCDの導入に協力いただけるコンサルタント&アドバイザーの支援とコミュニティ運営
 iCD関連セミナー(年6~10回)、iCDカレッジ【人材育成&業務改善・実践コース】等
- ◆想定利用者 iCDの概要を把握し、導入にむけたノウハウを習得したい皆様

(2) iCDを活用している企業間での人財に関する研究・意見交換を支援【iCD活用支援部会】

- ◆事業内容 採用や育成、評価など人財に関する研究、意見交換を行う。
 ※iCD活用企業がiCDの活用レベルを深めるための支援を行う。
 iCDユーザー会(年2~3回)、人財研究会(年2~3回)、会員の交流会の開催 等
- ◆想定利用者 iCD協会の会員、ならびに 人財に関する課題をお持ちの皆様

(3) iCDを活用している企業との産学連携を進めたい学校法人の支援【アカデミー部会】

- ◆事業内容 iCDに興味をもっている専門学校を中心とした学校法人に対し、以下のような活動を行う。
 ① iCDを活用した産学連携の企画と実施 ② iCDアカデミー認証の創設 等
- ◆想定利用者 iCDを活用している企業との連携を目指している学校法人の皆様

(1) 農業版iCDのタスク・スキルの策定【農業版iCD研究部会】

- ◆事業内容
 - ① 農業分野全般を考慮した体系化「営農類系を活用したコード体系を適用」
大中小分類の項目を中心に体系化を進める。
作物別現場別の人材育成への効果的な活用を目的として、評価項目は標準化せず柔軟に対応する方針。
 - ② スキル項目の定義と運用実証「タスクでは表現できない農業スキルの定義」
評価や人材育成に活用するには、スキル整理は不可欠。
マニュアル整備を優先とし、段階的な標準化を視野に入れて柔軟に対応する方針。
 - ③ 普及活動 タイアップ説明会
 - ・ 案件ベースで利用企業を広げる活動
 - ・ 営農分野におけるiCD会員モデルの定義と運用
 - ・ 「営農タスク標準(Task-Based Agriculture)」としてセミナー・勉強会等の実施
- ◆利用者想定 農業事業従事企業の皆様

(2) 製造業版iCDのタスク・スキルの策定【製造業版iCD研究部会】

- ◆事業内容
 - ① 特定の製造業分野を考慮した体系化プロセスの整備
 - ② 生産性向上へ向けたタスク遂行能力の向上プロセスの整備
 - ③ 普及活動 タイアップ説明会
 - ・ 案件ベースで利用企業を広げる活動
- ◆利用者想定 製造業従事企業の皆様

【補記】 順次、他業種の研究部会を構成予定

(1) 「ビジネス×AI」を推進できる人材育成の仕組みづくりに関する研究活動【AI活用研究部会】

- ◆事業内容 「iCD協会(AIタスクディクショナリ)」と「人工知能学会(AIマップ)」が共同で作成した『AIマップβ 拡張版チュートリアル(仮称)』を活用したトレーニング(ワークショップ)の設計、検証を行い、AI中核人材の育成を促進する。
- ◆参加メンバー 【募集中】 AI開発を主導できる人材育成に関心があり、上記の取り組みに参加可能な皆様

(2) iCDのグローバルな展開を目指したコンテンツと環境の整備【グローバル連携研究部会】

- ◆事業内容 デファクトグローバル標準「SFIA」および海外組織との継続した連携を促進し発信する。
具体的には、SFIAの動きに応じて iCD および Wings の向上を図る。
- ◆想定利用者 グローバルな視点でのスキル標準の動向、および iCD の立ち位置に関心ある皆様

(3) 自動車技術会 SDVスキル標準 成果物検証/iCDとの紐付け/キャリア研究【SDVスキル標準部会】

- ◆事業内容 自動車技術会が策定したSDVスキル標準の成果物を検証し、iCD3.0との紐付けを行う。あわせて、SDVスキル標準に基づくキャリアの研究も進め、今後の人材育成の基盤を整備する。将来的には、実践的なスキル習得を重視した育成方針を推進に役立つサービスを目指す。さらには教育機関・企業に使用して頂ける、技術変化に柔軟に対応できることを目指す。
- ◆想定利用者 自動車技術会 SDVスキル標準SWG2参加メンバー
OEM、teia1にて人材育成を実施している企業、担当者

一般社団法人iCD協会 iCD Association

URL : <https://www.icda.or.jp/>
E-mail : icda-info@icda.or.jp
TEL : 03-4530-6226

